



## 第72回通常総代会 亀井照明理事長挨拶

西鬼怒川土地改良区第72回通常総代会開催に当たり、挨拶申し上げます。

日頃より、西鬼怒川土地改良区の運営に對しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルスの全国的な流行が続き、その終息に向け全国民が感染対策に努力をしているところであります。

第72回通常総代会開催に当たり、行政の指導の下、令和5年2月の理事会にて書面議決による開催を決定し、最小人数の出席による開催となりました。総代の皆様にはご理解ご協力いただき改めて御礼申し上げます。

さて、令和4年度の西鬼怒川土地改良区の事業につきましては、皆様のご協力により、合併後約3,467ヘクタールの受益地の農業用水も順調に確保でき、水利施設の維持管理も大過無く運用してまいりました。一方、維持管理工事につきましては、工事箇所・工事費の増大に伴い、補助金を含めて令和3年度は約5,800万円、令和4年度につきましては約1億2000万円の費用がかかっております。そのため、財政調整積立資産等からの繰り入れが令和3年度は約4100万円、令和4年度は約4800万円と多額になっております。

また、近年土地改良区の役割が多様化しており、今年度も市民の安心安全のため宇都宮市と協力し、田んぼダム事業に取り組んでまいりました。

鬼怒川中部土地改良区連合案件としまして、西鬼怒川土地改良区を含む8土地改良区と7市町が一体となり、佐貫頭首工の耐震工事に向けた、佐貫頭首工改修推進協議会の設立総会を2月20日に開催し、令和5年度には改修工事への第一歩となる地区調査へ進むこととなりました。

農業形態・農村形態の変化と共に、土地改良区の地域社会との関わりが拡大していることや、物価の高騰により経費の増大が予測されます。賦課金の他、先人達の積み立てた財政調整積立資産を毎年取り崩しており、理事会では、数年後には賦課金の値上げをお願いしなければならないという

意見が多数出ております。他の土地改良区の賦課金とも比較検討しながら、再び先人達のように未来の後継者のために、財政調整積立資産を積み立てられるよう、役員・総代で検討し、組合員の理解を得られるよう進めていきたいと思っております。

本日の総代会には第1号議案から第16号議案まで上程しております。いずれも重要な議題ですので、慎重審議をお願いすると共に、円滑な議事進行にご協力いただきますようお願い申し上げます。理事長挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

